なんのための流動の産業情

by

Ken Sakamura, Ph.D.

The University of Tokyo

YRP Ubiquitous Networking Laboratory





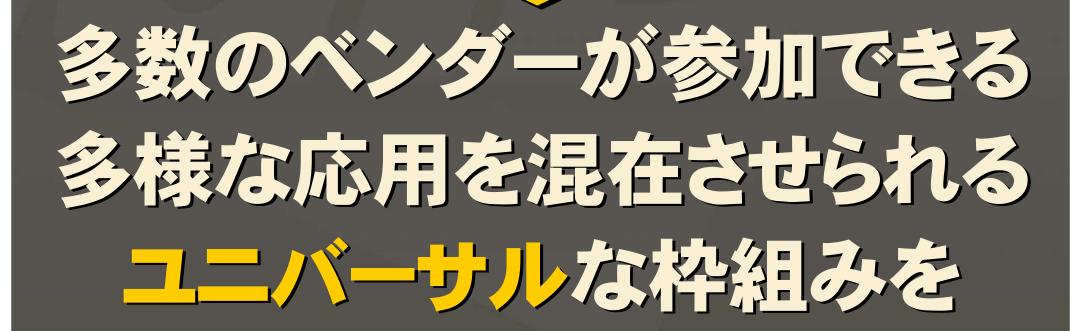




インフラは ユニバーサル・デザイン



広く使われるには





何に使ってもいい開かれたインフラ

ボランティアから商業利用まで



オープンシステムであることが重要

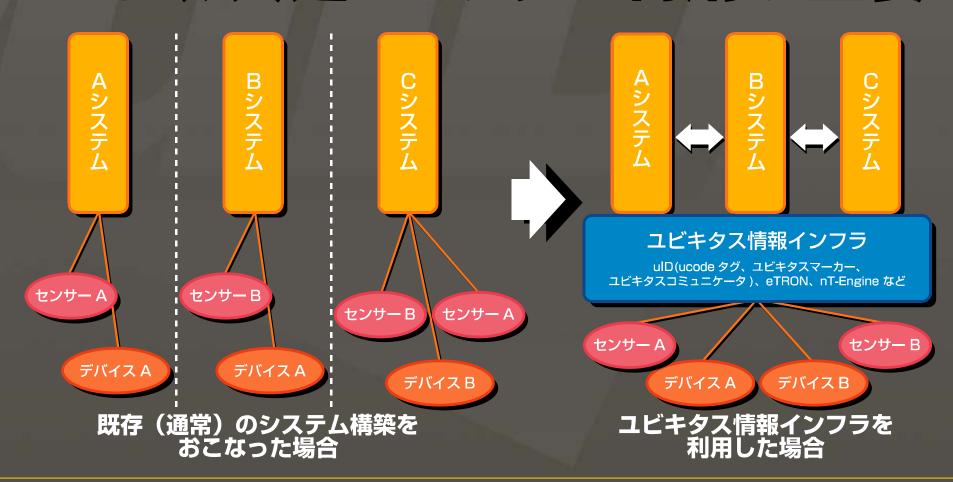


基盤として機能している例 交通道路網 最近ではインターネット





ユビキタスでは、システムごとの構築 でなく、共通インフラの利用が重要





社会規模のオープンシステム だからこそ発生する さまざまな<mark>問題</mark>

IPR問題 電子的不当表示の禁止問題 個人情報の保護 責任分界点 緊急時の情報収集 関係法令整備

Н



大規模な フィジビリティスタディの 必要性



まめられる

ユビキタス研究を 支える背景



YRPユビキタスネット ワーキング研究所



T-Engineフォーラム



T-Kernel

組み込みシステムの基盤の 完全オープン化



ユビキタスID

物品、場所、状況などさまざまなモノを個別識別する基盤のオープン化



ユビキタスを支える組織

T-Engineフォーラム ユビキタスIDセンター 発足当初22組織(2002年6月)



現在約500組織

世界最大の「組込み」、「リアルタイム」、「ユビキタス」の企業フォーラムに

聯事会員

















Hitachi ULSI Systems













































国際展開 電子・シンガポール・タイ・ベトナム・台湾・オーストラリア



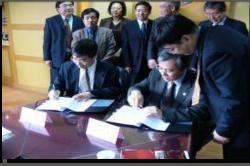
























多様な企業・民間団体・省庁を結んでの

多様な応用。実証実験



自律移動支援プロジェクト 食品トレーサビリティプロジェクト 農薬ナビ 薬品トレーサビリティプロジェクト ユビキタス医療プロジェクト 電脳住宅PAPI 青果物物流実験 倉庫内自動位置管理 コピー機トナーの物流効率化実験

さらには、会社や業界を超えたバリューチェーンの形成へ 原材料、生産、流通、利用から廃棄、リユース、リサイクルまで

18